

科目名	特別ニーズ保育・教育 I				担当	大塚 美奈子・川島 良雄		
形態	演習	単位数	1	開講時期	1年後期	実務経験	特別支援学校に勤務経験有(大塚)	
必修	幼児：必修 保育士：必修				ナンバリング	Y3304	DPとの関連	3
授業概要	なぜ、特別な支援が必要なのかについて学び、インクルーシブ保育・教育をめざすには保育者・教育者はどのような障害観を持って関わればよいのかについて考える。また、心身の発達と障害特性について学び、特別な教育的ニーズを有する子の学習上・生活上の困難さを理解する。事例検討やムーブメント教育の実技を交えたグループワークを通して子どもの特性に合わせた教育的支援方法を考える。							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 特別な支援の必要性を考える過程を通して、保育者・教育者に求められる障害観を理解する 2 様々な障害の特性や心身の発達について理解する 3 障害によらない特別な教育的ニーズのある子どもの学習上・生活上の困難さを理解し、具体的な支援方法を考える 							
授業計画	回	内容						
	1	特別な支援を必要とする子ども	障害児教育と保育の歩み インクルーシブ保育					
	2	障害児保育・教育の基本①	支援制度 保育者、教育者に求められるこれからの障害観					
	3	障害児保育・教育の基本②	障害を捉える2つのモデル ICFの理解					
	4	障害児保育・教育の基本③	個別の教育支援計画					
	5	障害の理解と支援①	知的障害の理解 児童発達センター 知的障害者自立支援施設					
	6	障害の理解と支援②	視覚障害の理解と支援					
	7	障害の理解と支援③	肢体不自由及の理解と支援					
	8	障害の理解と支援④	重症心身障害児と病弱児の理解と支援					
	9	障害の理解と支援⑤	聴覚障害の理解と支援 言語障害の理解と支援					
	10	障害の理解と支援⑥	発達障害(自閉スペクトラム症)の理解と支援 行動分析					
	11	障害の理解と支援⑦	発達障害(ADHD・LD)の理解と支援					
	12	障害児の支援方法①	ムーブメント教育 (実技：グループワーク)					
	13	障害児の支援方法②	ムーブメント教育 (実技：グループワーク)					
	14	障害児の支援方法③	ムーブメント教育プログラム (実技：グループワーク)					
15	障害児の支援方法④	ムーブメント教育プログラム (グループワーク)						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1 特別な支援の必要性を考える過程を通して、保育者・教育者に求められる障害観を理解することができたか 2 様々な障害の特性と心身の発達について理解することができたか 3 障害によらない特別な支援ニーズのある子どもの学習上・生活上の困難さを理解し、支援方法を考えることができたか 							
評価方法	授業態度 40% (演習課題提出含む) 期末試験 60%							
フィードバック方法	授業内で扱った演習シートはその都度評価し、返却する							
アクティブラーニング	グループワーク・ロールプレイ・グループディスカッション							
教科書	「障害児保育ワークブック-インクルーシブ保育・教育をめざして」星山麻木 編 萌文書林 運動・遊び・学びを育てるムーブメント教育プログラム 100—幼児教育・保育、小学校体育、特別支援教育に向けて—小林芳文他編 大修館書店							
参考書	授業の中で必要に応じて紹介する							
履修条件	特に、グループワーク等の話し合う場面では、話し合いの体制づくり・相互のやりとり等に積極的な姿勢で参加すること							
授業外学習	事前学習：各授業で提示された課題(宿題)をやり遂げた上で授業に参加すること 事後学習：教科書の本文や配布資料・ノートを読み返した上で、演習の振り返りを行うこと							
オフィスアワー	第12番研究室 mail:office365 outlook							